

あなたの周りの男女共同参画について

□調査期間 令和6年12月16日～12月27日

和歌山市では性別に関わらず誰もが自分らしく活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指し、第5次和歌山市男女共同参画推進行動計画(計画期間5年)に基づいて施策を推進しております。今年はその中間である3年目にあたり、男女共同参画の意識について現状の把握とそれを活かした施策の推進が重要となっています。そこであなたの周りの男女共同参画についてご意見をお聞きます。

□対象者数 1,424 人(令和6年12月16日現在)

□回答者数 933 人

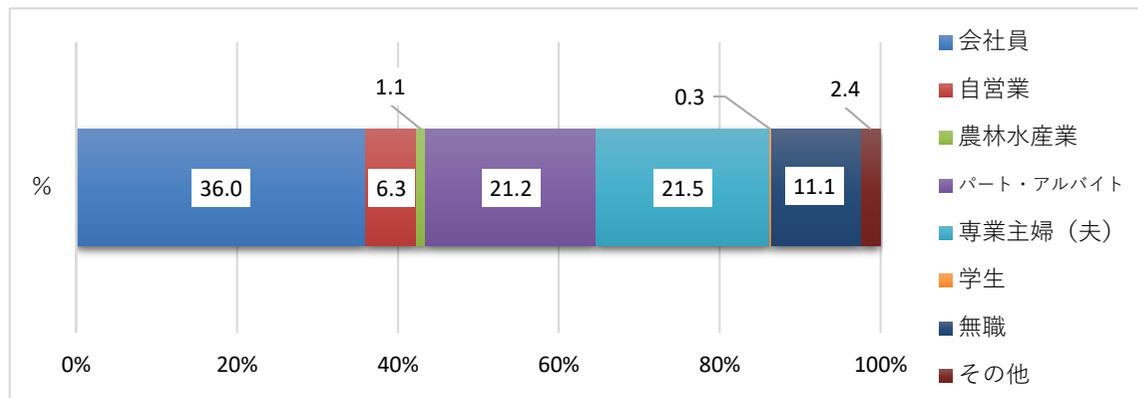
□回答率 65.5 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

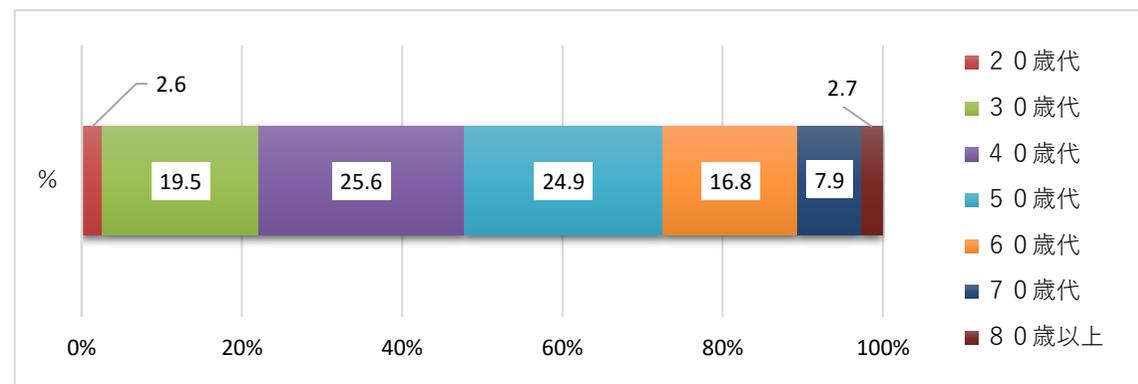
【職業】

内訳	人数	%
会社員	336	36.0
自営業	59	6.3
農林水産業	10	1.1
パート・アルバイト	198	21.2
専業主婦(夫)	201	21.5
学生	3	0.3
無職	104	11.1
その他	22	2.4
合計	933	99.9



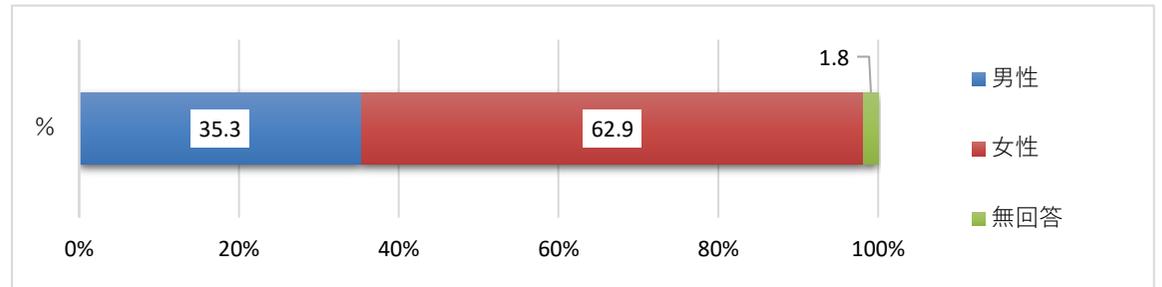
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	24	2.6
30歳代	182	19.5
40歳代	239	25.6
50歳代	232	24.9
60歳代	157	16.8
70歳代	74	7.9
80歳以上	25	2.7
合計	933	100.0



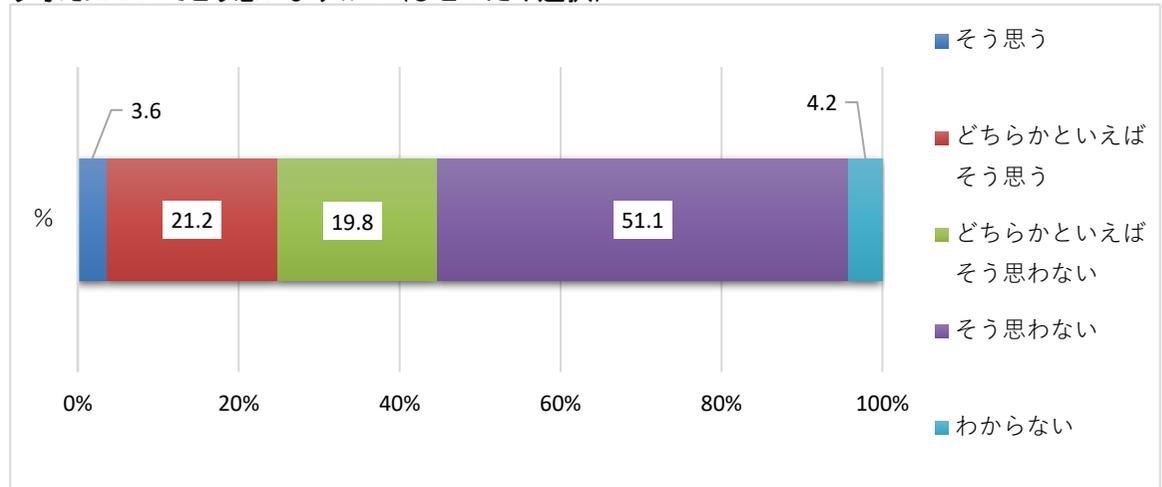
【性別】

内訳	人数	%
男性	329	35.3
女性	587	62.9
無回答	17	1.8
合計	933	100.0



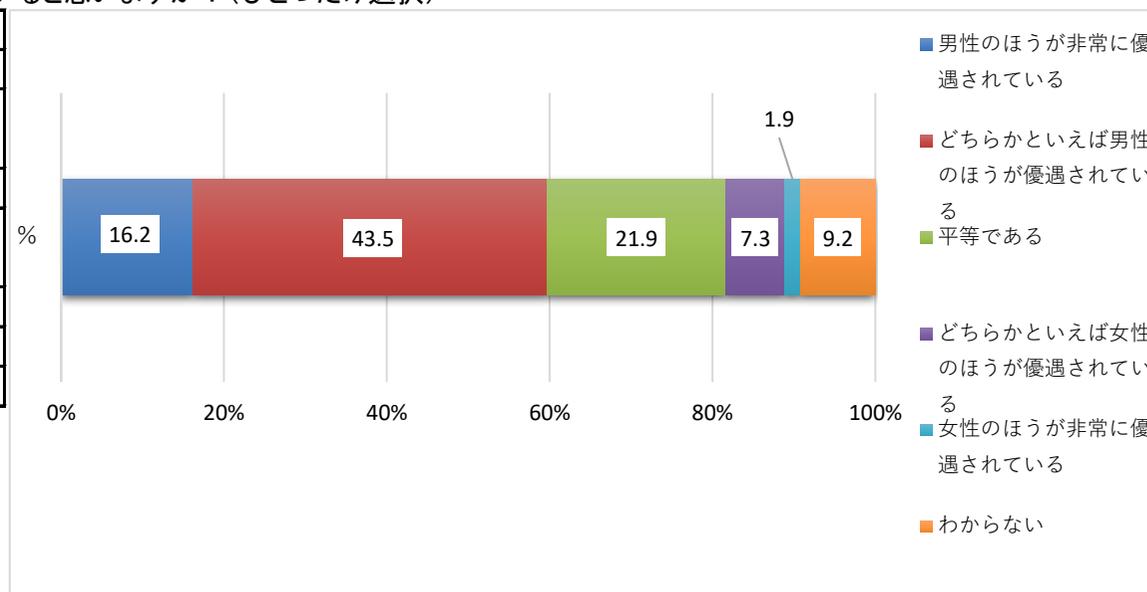
【Q2】あなたは、「夫が外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えについてどう思いますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
そう思う	34	3.6
どちらかといえばそう思う	198	21.2
どちらかといえばそう思わない	185	19.8
そう思わない	477	51.1
わからない	39	4.2
合計	933	99.9



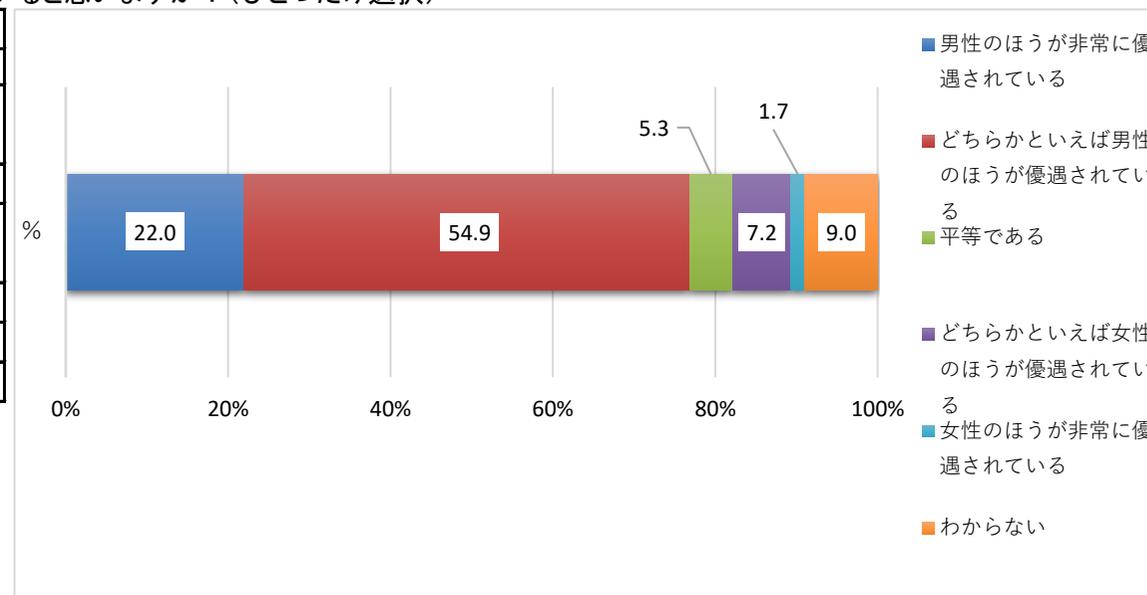
【Q3】あなたは、家庭生活において男女の地位が平等になっていると思いますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
男性のほうが非常に優遇されている	151	16.2
どちらかといえば男性のほうが優遇されている	406	43.5
平等である	204	21.9
どちらかといえば女性のほうが優遇されている	68	7.3
女性のほうが非常に優遇されている	18	1.9
わからない	86	9.2
合計	933	100.0



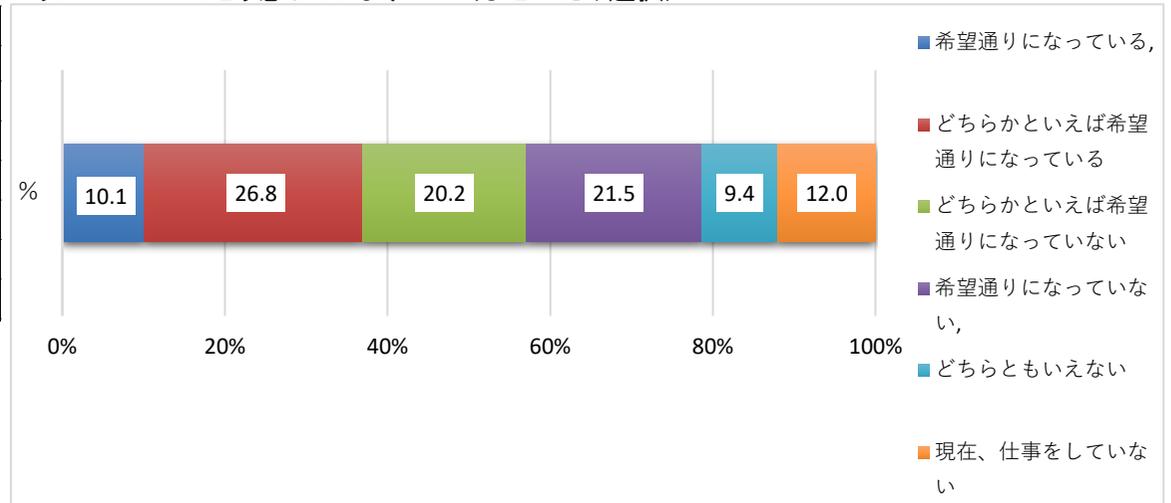
【Q4】あなたは、社会全体において男女の地位が平等になっていると思いますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
男性のほうが非常に優遇されている	205	22.0
どちらかといえば男性のほうが優遇されている	512	54.9
平等である	49	5.3
どちらかといえば女性のほうが優遇されている	67	7.2
女性のほうが非常に優遇されている	16	1.7
わからない	84	9.0
合計	933	100.1



【Q5】あなたは、現在自分の「仕事」「家庭生活」「自分の時間」のバランスについてどう感じていますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
希望通りになっている	94	10.1
どちらかといえば希望通りになっている	250	26.8
どちらかといえば希望通りになっていない	188	20.2
希望通りになっていない	201	21.5
どちらともいえない	88	9.4
現在、仕事をしていない	112	12.0
合計	933	100.0



【Q6】Q5で「希望通りになっている」または「どちらかといえば希望通りになっている」と回答した方にお聞きします。これらのバランスの充実のために工夫していることなどがあればお答えください。（対象344人）

- 話し合い物事を進める。
- 話し合い
- 話し合い
- 話し合い
- 自分のペースで生活できる。
- 理解のある夫を選ぶ。
- 頼れるところは頼る。
- 予定を立て時間を作るようにしている。
- 優先順位を決めてる。時間をうまく使っている。日頃より整理整頓をして無駄な動線を省く。
- 優先順位を決めている。
- 優先順位をつけて、色々なことをこなし、助けてもらいたいできないことは、周りに伝えていること。
- 役割分担を決める。
- 役割分担をあらかじめしておく。
- 役割分担
- 目配りと気配りを徹底している。
- 明日死ぬかもしれないので、必要以上に先々を考えて貯蓄はしません。
- 無理をしないこと、あまり拘らないこと。

- 無理をしない。
- 毎日のルーティンを崩さない。
- 普段から家事を家族にまかせる。
- 夫婦間の価値観が限りなく同じである。
- 夫婦間でお互い干渉しすぎないこと。
- 夫婦間、子供との会話
- 夫婦の理解
- 夫婦の時間を大切にしている。
- 夫婦の会話
- 夫婦どちらも気兼ねなく生活を送っている。
- 夫婦で話し合いをする。家事はお互いがする。
- 夫婦で協力する事でバランスを保っている。
- 夫婦で家事を分担している。子供のお迎えを分担している。
- 夫婦での協力
- 夫婦でのお互いの理解
- 夫婦お互い尊敬し合える間柄でいる事
- 夫より収入が多い。
- 夫の理解
- 夫の親と同居・夫に家事の仕方を教育する。
- 夫の協力を仰ぐ。
- 夫の協力、趣味の時間を持つ。
- 夫にも協力してもらう。
- 夫が理解があるので自分の趣味に時間を持てているし、子供にも時間を使えて、園児の送迎など子供の体力や要望と相談しながら過ごせていると思う。子供だけに時間を使うとストレスが強く、心身に出してしまったので、自分の時間を持つようにしている。
- 私が専業主婦になり、夫は仕事のみ。これで今のところ上手くいっている。
- 夫が家事も育児も一緒にしてくれている。家事育児を「手伝う」という認識の男性となら、100%自分の時間はないと思う。
- 必要なことと不要なことを棚卸しして、取捨選択して時間を確保する。自分にとって必要なこ周囲の人に必要なことの最適解を考えて行動する。
- 必ず月末には次月の互いの予定を話し合っている。
- 疲れた時は家事を手抜きする。
- 比重をかける、メリハリですかね。
- 買い物の回数をへらして、時間を有効に使う様にしている。
- 配偶者や子供がいないので、自分の時間の使い方を自分で決められるから。
- 配偶者の権利を尊重することで、そういうことが実現できていると思います。

- 特にない
- 特にない
- 特にない
- 特にない
- 特にない
- 特にいつも通りの生活をしている。
- 特にありませんが、人生そんな思う通りにいかないよ～と思っていたらあんがいうまくいく。
- 特にありません。話し合う事です。
- 働く時間は減らす。
- 働き方を派遣にしており時間日数を自分で調整できている。家族の理解があつてこそできることだと思っている。
- 働き過ぎない事
- 働きすぎない。
- 努力している。
- 転職をした。
- 転職した。
- 通勤時間の短い企業に転職した。
- 長年の積み重ねでそうなっているだけで、工夫していることは特にない。
- 長期間かけて夫の考え方を変えてきた。
- 朝は5時起き、家事を済ませる。時間を充実したものにするために、1日のスケジュールを決めている。食事介助は必須なので最優先し、その他の時間の使い方を決める。買い物などどうしても外出しないとイケない事どうしても家に居てしなければならない事の時間の使い方を考えている。
- 男性は、定年退職や家業を廃業すれば、生活がフリータイムになるが、女性には従来の家事が変わりなくついてくる。私は家事の手伝いを積極的にしているつもり。例えばごみだし、風呂掃除、食後の洗い物、庭掃除など。
- 男性も料理、洗濯等の家事を行う、また相談して行っている。
- 男性は社員で働いて、奥様はパートで働く形が今の時代に合っている。
- 旦那の理解度
- 旦那と話し合う。
- 旦那ができることを増やす。
- 単身なので、自分で決められる。
- 誰が働くべき、誰が家事をするべきという固定観念を持たないこと。
- 相手を理解し尊重すること。
- 相手の思いやり。
- 早起きして自分の時間を作る。
- 早く帰宅する。

- 組織に属さない働き方をすること。
- 全てにおいて限度を越さない事に気をつけている。
- 専業主婦のため。
- 先にすべきことをギリギリにせず前もって事前にやっておくこと。
- 積極的に家事を手伝う。
- 生活バランスを考えて行動する。
- 正社員を辞めた。
- 正社員にならない。
- 正社員ではなく、パートで働いている。
- 成り行きに任せているとこうなった。
- 人生第二幕と考えた行動等を心掛けるように。
- 深く考えず生活することも時には重要かと思えます。
- 心身ともに健康でいること。そのために必要な努力をします。職場の人に自分のことを理解してもらい、病気や家族の都合で仕事を調整する必要があるとき、快く対応してもらっています。日頃から周りの人と信頼関係を築き、助けてもらえる人間になることが大切だと考えています。
- 常に平等、対等の意識を持っている。
- 少なくとも制度上は整備しつつある。
- 所属する組織において、在宅ワークやその他ワーク・ライフ・バランスに寄与する制度を有効活用し、かつその制度の維持向上に貢献している。
- 出来るだけ効率よく働けるように仕事のやり方を工夫している。
- 出産する以上、ある程度仕事をセーブする方がライフバランスが取りやすい。
- 周囲の協力、自分自身が楽しみを見つけながら生活している。
- 周りを気にしない、自分らしさで生きる。
- 収入面
- 収入を犠牲にしている。収入をメインに考えると、息苦しさをを感じる。
- 受注した仕事はすぐ取り掛かるようにしています。
- 趣味を中心に、後に余りの時間を仕事に充てる。
- 趣味を楽しんでいる。
- 趣味の時間を大切にしている。
- 趣味の時間を大切にしています。
- 趣味の時間を作っている。
- 趣味の時間や1人の時間がある。
- 主張する。
- 主人と死別した為、自分のペースで生活、仕事を行う事が出来る。
- 自由時間が充実している。

- 自分の両親に助けられています。
- 自分の場合、自分の時間＝家族と過ごす時間、だからです。
- 自分の趣味趣向時間を確保する為には、夫から必要最低限の生活費しか貰わない。やりたい事は全て自分のパート代から出す。
- 自分の時間を取るように心がけている。
- 自分の時間を作ってストレス発散する。
- 自分の時間をとるようにして 我慢しない。
- 自分の時間が比較的取れているので満足感が高いのだと思います。
- 自分の考えとやるべき行動、言動を持っている。
- 自分のやりたいことをする。やりたいことを周りに伝える。
- 自分のやりたいことはパートナーに伝えて協力してもらっている。
- 自分のやりたいことができる環境にする。
- 自分で主張する。
- 自分だけの時間を作る。
- 自分だけが頑張ろうとしない。でも、自分以外の人が頑張ってくれている事を忘れない。感謝の気持ちを持つ。
- 自然にそのようになっているように感じており、特に工夫をしているつもりがありません。
- 自営業なのでコントロールできる。
- 時間を有効に使う事
- 私に病気があるので、仕事を今していないですが、夫は休みの日でも言えば家事を気持ちよく手伝ってくれるので、うまくいってます。
- 思ってるだけじゃなく、ちゃんとうろたい、あーしてほしいなど、自分の思いを伝える。
- 子供も独立して自分のしたいことができるようになった。
- 子供の帰宅が早いので短時間のパートしかしてない。旦那がそれに了承しているかどうか。
- 子供の学校行事などは夫と手分けして行っている。仕事は夜勤がないように、子供と休みが合うように転職した。
- 子供の学校行事がある日は 気兼ねなく仕事を休める環境。
- 子供と買い物に行ったり、他府県であるコンサートに行ったり。
- 子供が小さい時は絶対に女性が家庭を守らないと、上手くいきません。でも大きくなってきたら、自分の時間を持てるようになり仕事との両立も出来るようになり、今、とても満足です。
- 子供がいれば常に子供の面倒を見ないといけないから自分の時間がなくなります。なので子供が小さいときは自分の親に預けて自分の時間を作っていました。今は子供は成人しているので、自分の仕事の量を減らせて自分の時間を作っています。
- 子育て終わり、自分の時間を作れるようになったから。
- 子育てが終わり、こどもがそれぞれ独立したから希望通りになってきた。定年退職した夫の協力は不可欠。
- 子どもの寝かしつけを早くする。
- 子どもが大きくなったので自分の時間がとりやすくなった。
- 仕事を抑えて子どもとの時間をつくらせている、しかし給与面でいえば働いていない分少ないため節約して暮らしている。

- 仕事を優先しない。
- 仕事を任せられるようにしている。
- 仕事を定時で終わらせて、晩ごはんも下準備して冷凍したりと、細かい時短を積み重ねたら自分時間ができるようになりました。
- 仕事を自宅に持ち帰らない。退勤後や休日の人付き合いを選ぶ。可能なら家庭の要望を最優先する。
- 仕事を在宅勤務にし自由時間を作る工夫してます。
- 仕事を減らしている。
- 仕事を軽めにするよう心がけている。
- 仕事を頑張りすぎない。
- 仕事を家に持ち帰らない。
- 仕事をセーブする。
- 仕事をしてる時は家事の負担が大きしんどかったので、思い切って仕事を辞めた。
- 仕事をしてもしなくていいと考えている人を伴侶に選んだ。
- 仕事をしすぎない、夫婦間でどちらかが仕事でも代わられるように子供の習い事や学校ことなど全て情報共有している。
- 仕事をうまく切り上げる。
- 仕事も家庭も疲れたら頑張りすぎず、助けてもらったりするので不満がない。結局は頑張り認められ、手助けをしてくれるようなパートナーだったら希望通りだと思えます。
- 仕事は無理に入れないパートタイムにしている。
- 仕事は子供が小さいので、扶養内勤務にする。自分の休み時間もちゃんと入れる。
- 仕事は子育てのためセーブしつつでバランスとってる。
- 仕事はスポットにしている。3年前に常勤の仕事は退職。年金には苦勞しない見込みがあるので、仕事で自分の時間にしわ寄せがくることは避けたいと思うようになった。
- 仕事はしたい。が、敢えて我慢する。
- 仕事の時間をセーブして、自分の時間を作っている。家庭の時間がかなり長いですが、子育ては自分の希望なので満足しています。
- 仕事に復帰するために保育園に入れるか否か悩むのではなく、待機児童もなく仕事も子育ても両立しやすい社会にはれば生活のバランスも良くなると思います。男性の育児休暇の充実も家族との時間を過ごすために行政から力を入れて企業へアピールする機会を持っていただくことで、男性の育児への参加の機会も増えると思います。
- 仕事にとらわれすぎない。
- 仕事と家庭生活の時間をはっきりと分けるようにしている。
- 仕事とプライベートを割り切っている。
- 仕事とプライベートのバランスを取れるように、定時で帰るなど意識している。
- 仕事で時短をとり、その中でできる仕事を行っている。
- 仕事が忙しく無い事
- 仕事・家庭・自分のそれぞれの時間の配分や優先順位を自分の中できちんと確立しているから。

- 仕事、家庭の時間、自分の時間は全て自分の人生の時間であり切り分けて考えていない。
- 残業を減らす。
- 残業はしない。仕事人間にならない。
- 残業しない。
- 残業しない。
- 妻を大切にし、妻の思考、行動に干渉しない。
- 妻の努力
- 妻がよくやってくれている。
- 今を大事に生きてい感じで動いている。生きている時間は限られているので。
- 今までの積み重ねだと思います。
- 今は子育て中で、夫が仕事の調整をしてくれ、託児所にも連れて行ってくれているのでフルタイムで働くことができている。しかし、その代わりに夫の給料は下がりました。育児していても、休みやすく収入が保障されるようになってほしい。
- 今は子ども世代を助けるために孫の子守りをさせてもらっていて家族全体での助け合いをそれぞれができる様にしている。
- 今は一人暮らしなので自由になったから。
- 今は育休中のため仕事はしておらず、その代わりに家事は出産前より多くしている。自分の時間は夫に子どもをみてもらうことで作っている。仕事をセーブすること、自分の時間を過ごすことはパートナー同士の理解が必要。
- 今できることを、できる限り行動し、時間を大切にすること。
- 高齢のため、出来る事をしている。
- 工夫はない。夫の稼ぎがあることが大きな要因。自分の希望の範囲で仕事ができている。
- 工夫はしていないが子供たちが大きくなってゆとりができたため。
- 工夫というよりは、子どもが社会人になったので 仕事もプライベートも楽に生きている感じです。
- 好きなことをする。
- 効率的に考える。
- 現状、働いておらず、無職。毎日家事を分担している。
- 現在仕事をリタイアしているので、やるべき家の事をこなせば後は自分の時間になり普段はジムに行き運動しています。
- 現在は圧や不平等を強いる家族がいないため。
- 嫌なことがしない。
- 結婚する前にお互いどういう生活をしたいか、しっかりな話合ってからしたし問題があれば都度相談しあっています。
- 経済力を付けて、発言力を強めている。
- 経済面で出来る範囲で色々なボランティア活動をして社会貢献している。
- 勤務時間が日中自由な時間のある勤務環境だから。
- 勤務を変更している。
- 強制されてい要るわけでもなく自分の意思が優先しているから不満はない。

- 共働きではありますが、お互い話合って「仕事」「家庭生活」「自分の時間」を決めているので、不満を感じる事無く生活できています。
- 共に高齢化しており、何でも助け合いながら或いは相談しながら日々を送っている。
- 休むときは休む。
- 休みはしっかり、自分が喜ぶことをする。
- 休みがとりやすいので自分の時間も取りやすい。
- 規則正しい生活リズムを取れるように調整している。
- 規則正しい生活
- 気持ちに素直に生きる。
- 希望通りになるようあれこれ努力している。
- 希望通りというか、そうせざるを得ない状況になってしまい工夫しながらそういうカタチにしてきた。
- 基本は育児も家事も1人ででもできるように夫婦で認識、勉強。それを夫婦でできるところをやる。生活費も夫婦共働きなので平等に。そのなかでもここが負担だと思うところを逐一相談して分担に回し、感謝し合う！
- 完璧にしようとしらない。
- 楽しく前向きな気持ち。
- 会社勤めを辞め、自分で仕事量やスケジュール調整ができるフリーランスに転向した。ずっと仕事をしようと思えばできるし、しなないと思えばしない。よって、起床時間と就寝時間をきちんと決め、また日曜日の午後は温泉へ行きリフレッシュするなど自分なりのルールを決めて取り組んでいる。
- 会社の制度が充実しているため、活用している。
- 会社の社長が理解してくれている。
- 会社からの退社時間を早くする。
- 家庭生活を自分の時間に(あるいは逆も)組み入れるようにしている。
- 家庭生活について理解を得ることができる職場を選ぶ。
- 家庭生活においては役割を決めずにお互いに出来ることをするように、また家族を尊重して色々と話をする時間を作るようにしている。
- 家庭を中心に仕事量を決めている。
- 家庭において、夫、子どもたちもそれぞれの出来ることをしてくれている。
- 家族会議
- 家族の理解を得てしたいことをするようにしている。
- 家族の協力
- 家族に相談してやりたいことをやるようにしている。家族全体で目標を共有している。
- 家事分担、共働きという点。子育てが始まるとまた考え方が変わりそうですが…。
- 家事分担
- 家事負担を軽減できる家電を導入しました。
- 家事等簡略化できることはしている。
- 家事育児に追われる日々ではありますが、「自分のための日(時間)」と決めて羽を伸ばす機会を作っています。

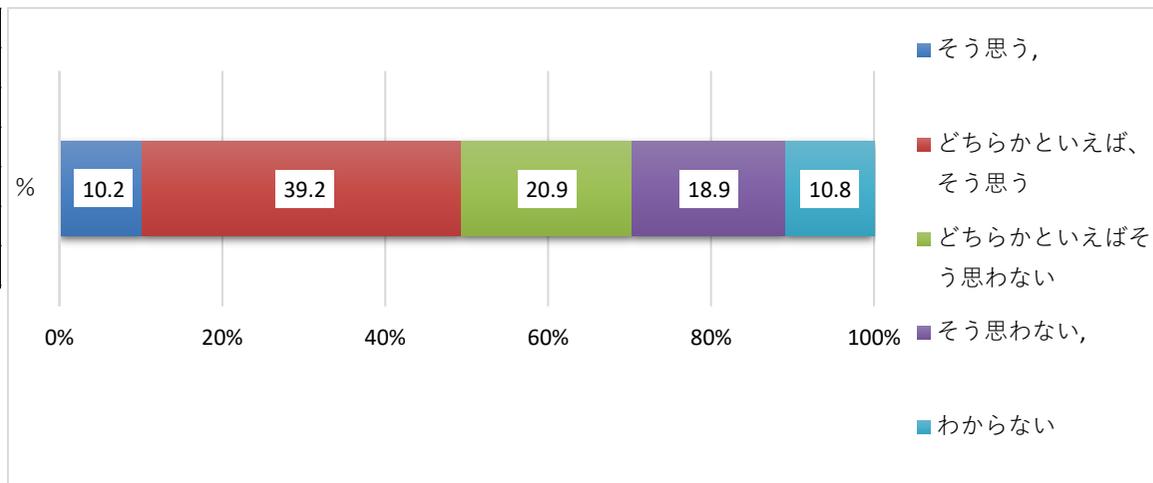
- 家事を率先して行っている。
- 家事を早く終わらせる。
- 家事を生活のパターンにあわせて、分担する。
- 家事をひとりで頑張りすぎない、任せる。
- 家事もできることは、黙ってする。
- 家事は完璧にはできない前提で、生活をまわしています。
- 家事の分担
- 家事の分担
- 家事、育児等の積極参加
- 家事、育児をすること。
- 家事、育児をしながらパート収入が得られるよう、休みの取りやすい会社を選びました。
- 家の用事や家族のスケジュールに合わせながらも、自分の時間も取れている。
- 可能な限り「仕事」「家庭生活」「自分の時間」のバランスをとるように考えながら行動している。
- 何事も無理をせず、夫婦で協力し合っている。
- 何事も無理すぎない。
- 何があっても自己責任と心得る。権利、自由の裏には必ず義務と責任があることを理解していれば些少のことは気にならない。
- 一日の中で自分の趣味の時間を確保する。
- 一生懸命働きお金を貯めてきた。何かあれば業者に依頼する。
- 意識している。
- 以前はダブルワークをしていましたが、(年齢もありますが)家の事をしながらはキツくなってきて、特別支給の年金を受給し始めてからは短時間パートを1つだけにしました。
- わかりません。
- ライフワークバランスを考えて仕事をしている。
- やろうと思った事はすぐに実行する。
- やるべきことを後回しにしないこと。
- やるべきことをメモして明確にしている。
- やるべきことは手を抜かず効率よくこなす。
- やりたいと思うことがあれば、できる限り行動にうつす。
- やりたいことをなるべく後回しにしない。
- ボランティアとして少し社会参加でき、自分の時間として趣味の時間も持っている。
- ほぼ役割りがはっきりしている。
- フルタイムではなく、短時間のパートで働いている。学校関連の仕事のため春、夏、冬休みがあり、子どもとの時間もしっかりとれる。それを最優先にして職探しをしました。

- フリーランスとして働いています。
- プライベート時間を持つようにしている。
- 子どもたちの協力もあり、何とか出来ている点、ありがたい。
- バランスの充実のために工夫し事はない。
- バツイチなので家庭生活、自分の時間は自分だけなので家庭生活を手抜きしたりして自由時間を作ってる。
- パートの時間が短い勤め先を探す。
- パートナーの理解、自分自身の人生設計
- パートナーと話し合いをしている。
- パートで働いたり、趣味を充実させる。
- なし
- なし
- ない
- ない
- とにかく残業をしないこと。
- とくになし
- テレワークで仕事をしながら、家事育児との両立が出来ていると感じるため。
- できる範囲のことだけする、無理をしない、家の中も人間関係も断捨離
- たくさん寝る。
- その時々働き方をしている。
- その時々で何を優先するか考えている。
- ストレスをためないこと。元々の性格上現状に満足する性格がそう思わせていると思う。個人の感じ方次第
- したいことを家族に相談して全てに納得できている。
- サラリーマンを辞める。
- さらに、家事を手伝う必要がある。
- コミュニケーション
- ギブアンドテイク
- お互いを認め合う。
- お互いを尊重する。夫は毎日仕事をして家族を支えてくれている方に感謝し、夫は私に子育てを任せ過ぎていると理解してくれているので、それで充分。
- お互いをリスペクトする。
- お互いの予定を共有している。
- お互いの思いやり。
- お互いに年を取り、仕事もしていないので、好きな事が出来るから。

- お互いに自分のしたい事をする。
- お互いに事情があるので、細かく決めすぎない。
- お互いに我慢せずにやりたい事をしている。
- お互いに何でも半分ずつしている。働く事も食べる事も。
- お互いにマイペースで。
- お互いにできることをする。
- いつも忙しくしていますが、工夫と言うより、健康なことが一番だと思っていて、日ごろから健康については気を付けています。
- あまり働かないことです。
- 協力のおかげ
- その考え方を各自の哲学として持つべきです。
- 24時間無駄にしません。
- 1. オンとオフの切り替えを明確にする。2. テレワークを有効活用する。3. 休日はしっかりリフレッシュする。
- 「自分の時間」として、自己啓発を行うことができる。
- 毎日の充実感。

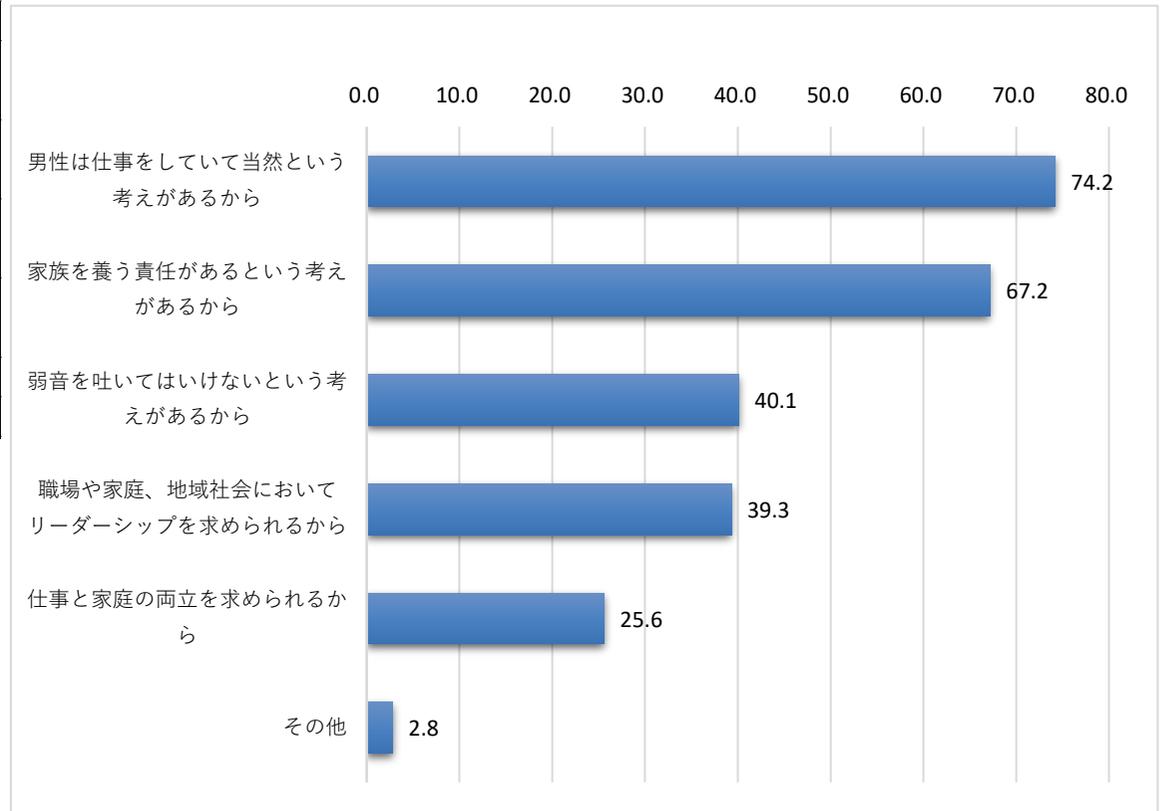
【Q7】あなたは、普段の仕事や家庭生活、地域活動の中で「男性だから」といった固定観念で男性が生きづらさやプレッシャーを感じていると思いますか？
 (ひとつだけ選択)※男性は自分のことを、女性は「男性がいきづらさやプレッシャーを感じている」と思うかお答えください。

内訳	人数	%
そう思う,	95	10.2
どちらかといえば、そう思う	366	39.2
どちらかといえばそう思わない	195	20.9
そう思わない,	176	18.9
わからない	101	10.8
合計	933	100.0



【Q8】Q7で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答された方にお聞きます。その要因は何だと思いますか？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
男性は仕事をしていて当然という考えがあるから	342	74.2
家族を養う責任があるという考えがあるから	310	67.2
弱音を吐いてはいけないという考えがあるから	185	40.1
職場や家庭、地域社会においてリーダーシップを求められるから	181	39.3
仕事と家庭の両立を求められるから	118	25.6
その他	13	2.8



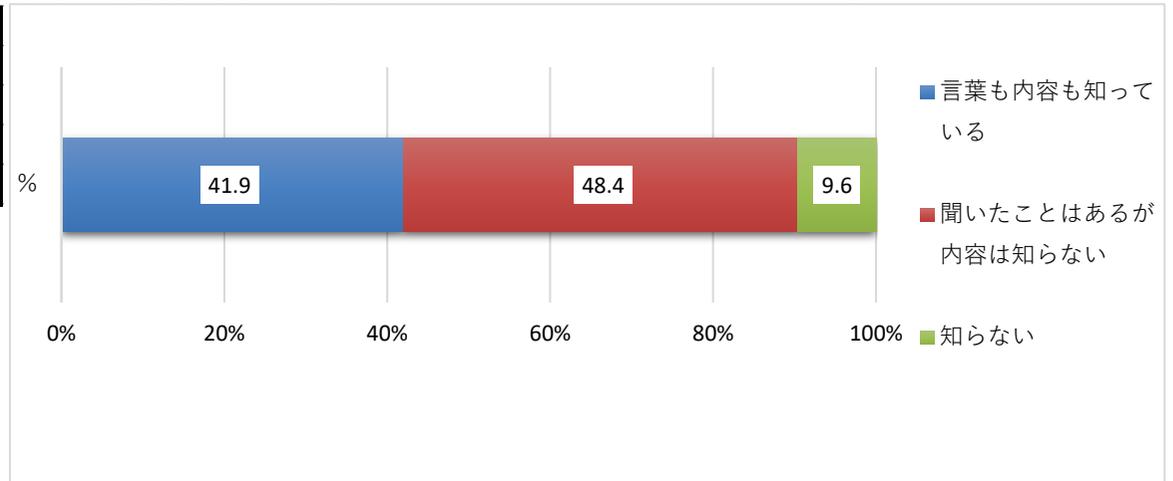
【Q8-1】その他(対象13人)

- 力仕事などを任せられるから。
- 長男だと家(代々の土地)や家業の跡取りを求められるし、断りにくい。世相より実際にはもっと自由がないように感じる。
- 男性は女性に優しいが女性は男性に厳しい。
- 男性の方が正社員・高収入であれというプレッシャーが大きい気がする。
- 男性だからという理由で粗末な扱いを受けているからです。
- 男だから稼がないといけないのに現実には給料が安い。奥さんが産休とって男性は取れない状況で、給料が安かったらつらいと思う。
- 昔からの固定概念が強すぎる。男女とも。
- 親や年長世代から、無自覚にあるべきをシャワーのように浴びて、育ってしまった、その世代が、また無自覚に次世代を再生産するから、ジェンダー平等は是正されるが無くなりほしくないと思う。
- 集団圧力。

- 仕事や地域活動では男性の方が重宝されているから。
- 筋力・体力関係なく力仕事や汚れ仕事に駆り出された事がある。
- まだ上の世代では固定観念が残っているように感じるから。
- 「男性はお金が全てである」「男性というだけで不審者扱いされがち」、という自他の固定概念。

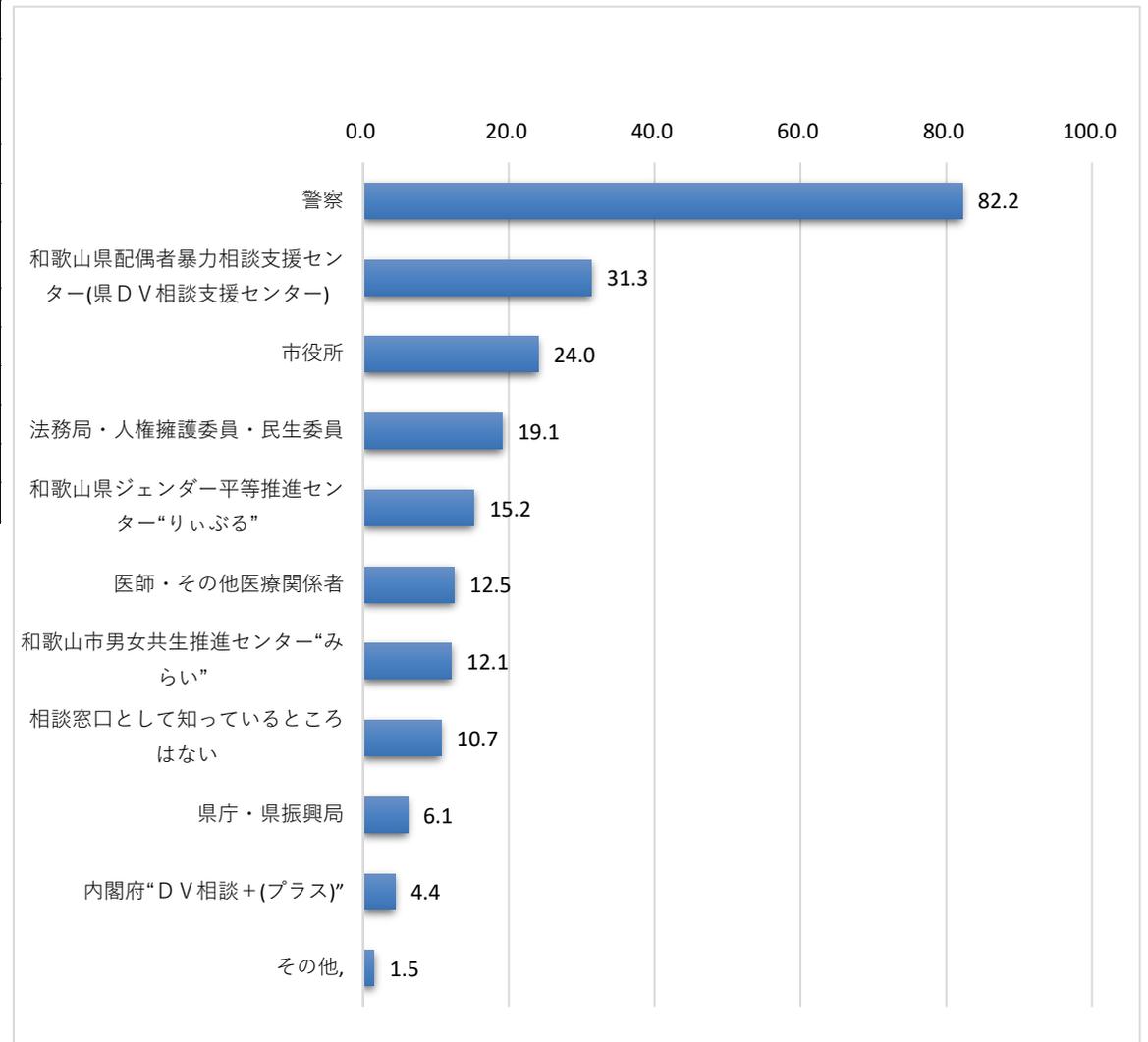
【Q9】あなたは、次のDV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)について知っていますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
言葉も内容も知っている	391	41.9
聞いたことはあるが内容は知らない	452	48.4
知らない	90	9.6
合計	933	99.9



【Q10】あなたは、配偶者やパートナー、交際相手から暴力を受けた時に相談することができる窓口としてどのようなところを知っていますか？
 (あてはまるもの全て選択)

内訳	人数	%
警察	767	82.2
和歌山県配偶者暴力相談支援センター (県DV相談支援センター)	292	31.3
市役所	224	24.0
法務局・人権擁護委員・民生委員	178	19.1
和歌山県ジェンダー平等推進センター “りいぶる”	142	15.2
医師・その他医療関係者	117	12.5
和歌山市男女共生推進センター“みらい”	113	12.1
相談窓口として知っているところはない	100	10.7
県庁・県振興局	57	6.1
内閣府“DV相談+(プラス)”	41	4.4
その他	14	1.5



【Q10-1】その他(対象14人)

- 友達、家族
- 友人にまず相談してから考える。
- 役所に相談かけても調査するだけで、親身になって解決策や行動を取ってくれないので皆諦めている。

- 無料弁護士相談
- 母子支援員、社会福祉士
- 弁護士等
- 弁護士事務所に相談してます。
- 悲惨な事件を見聞きしてきたので相談しても無駄だと思う気持ちがある(DVを受けたことはないが)。
- 番号は知らないし、管轄がどこかもわからないが、電話相談窓口があったと記憶。必要な時は、ネットで調べてみる。
- 身内
- 子供たち
- 考えた事がない。

この度は、お忙しい中男女共同参画に関するアンケート調査についてご協力いただき誠にありがとうございました。
今回いただきました貴重なご意見を参考に、本市の男女共同参画に関する施策を推進してまいります。
今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。